

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CONET		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		～ 2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		～ 2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。	保護者さまとの面談を必ず実施し、内容の説明や目標の意図などを説明させていただいております。その時に保護者さま（お父さま）のニーズを把握し、目標への追加、または支援内容への反映を行っております。現状把握から課題設定、個々の特性やニーズに合った個別支援計画の作成（5領域の関連性）支援プログラムの目的と振り返り、専門性を考慮したプログラム提供を意識しております。	日々のカンファレンスにおいて現状の分析を図り、目標達成に向けた、より具体的な課題を職員間で把握し共有する。
2	子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた専門性のある支援を受けられている。	本人意思の尊重を大切に、意識した療育支援を行っております。また幅広い療育の実施を行えるよう、スタッフの質やスキル向上を図るために、様々な研修や訓練に参加しております。専門職によるプログラムの立案・設定及び、専門的支援の実施を行っております。	職員間で個々の活動プログラムのPDCA（計画・実行・評価・改善）をより明確化し共有することで、質が高く適正な療育を提供する。
3	保護者さまへの説明等（家族支援・地域支援）	面談や交流を通じて、成長過程におけるライフステージや、ご家庭での日々の悩み・困りごとに対し、解決に向けた助言やサポート及び、関係機関・地域での包括的な支援を踏まえ、お子さまの成長を共有しております。	家庭支援や関係機関、学校、園との連携から見えた具体的な必要性を明確にし具現化していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の様子を保護者さまへ発信するアプリの活用等	毎月配布のおたより、日々の連絡帳や口頭（送迎時やモニタリング時）で利用時の様子を共有する事はできているが、個々への画像等の発信が少ない。	既存のInstagramや、新たに開設した公式LINEを活用し、情報や日々の支援の様子を発信していけるよう検討します。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会。	法人内の他事業所との交流は設けてきたが、その他地域の他事業所と関わる機会が少ない。児童クラブ等の関係者とつながりがなく、交流会の設定ができずにいる。	近隣の児童クラブとの交流会、及びイベントの招待を今後検討し、実施に向け努めてまいります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 CONET

公表日 2025年11月4日

利用児童数 14

回収数 12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				1階、2階の活動スペースを設け、活動に応じた環境の配慮を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11		1		基準配置と専門支援プログラムが十分に行える体制を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2			階段には手すりを設置、特性に応じ視覚での伝達を取り入れています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			未回答1	毎日の清掃と、子どもたちが触れるところの消毒を行い、安心して過ごせる空間を維持しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			1	専門的実施支援プログラムでの専門性を高めた支援を取り入れています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				毎月、療育プログラムとして公表しています。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるように引き続き努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	2			引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1		1	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるように引き続き努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1		1	計画を基にプログラムに沿った支援を提供しております。打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう引き続き努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2			引き続き、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	4	事業所間との交流は実施してまいりました。学童との交流が実施できておらず、今後実施へ向け検討してまいります。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			未回答1	引き続き、丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			1	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心がけてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2		2	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っていませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後何かございましたらお気軽にご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12				連絡帳や保護者さまとの連絡ツールとして個別のLINEを通して行っておりますが、それ以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1		1	支援計画の更新に合わせ、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がありましたらお気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2			引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1		2	今年度も保護者交流会を開催させて頂き、たくさんの保護者さまにご参加して頂きました。ありがとうございました。また、クリスマス会等交流の場も今後予定しております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	2	お気軽にご相談頂けるような環境を整えることを意識しております。お話しした内容につきましては迅速かつ適切にご対応できるように努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2		今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		おたより、HP、公式LINE、インスタグラム等の活用で発信を行っております。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			今年度も安全計画等の策定通りに実施しております。避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間で実施訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		1	定期的に避難訓練（火災・地震）を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11		1	安全計画を策定し、社内で研修を行っております。何かお知らせすべき事項がある際は、おたより等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			事故対応について、マニュアルに定め社内で周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12			お子さまが安心して過ごせるよう引き続き努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12			お子さまが楽しんで活動に参加できるよう引き続き努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12			今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
CONET		2025年 11 月 4 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		児童のために収納スペースを機能的に配置し、安全な教材の管理を徹底しています。	今後もスペースの有効活用を心がけていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		児童指導員や保育士の配置数を利用定員や児童の特性に合わせて調整しています。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		活動内容ごとにスペースを区切り、時間や活動内容が視覚的に分かりやすいように表示しています。	引き続き子どもたちが分かりやすくかつ、過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃や消毒を行う体制を整え、利用する子ども達が安心して過ごせる空間を維持しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	活動内容に合わせて、静かに過ごしたい場所、集中したい場所、人目につかない場所など設定しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		職員全員が目標設定や振り返りに参加し、継続的に業務改善を行うPDCAサイクルを回すことができています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様から頂いたご意見を職員間で共有し、業務改善に努めている。	職員全体で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	定期的な職員会議で課題や改善点について話し合い、情報共有と共通理解を深め業務改善に繋げている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		必要に応じて第三者より外部評価を行える環境にはある。	必要に応じて実施を検討いたします。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		社員総会の中で研修を行っている。日々の業務の中でも様々な研修が受けられる環境が設定されている。	引き続き、社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		具体的な活動内容や目標を明確に示し、子ども一人ひとりのニーズに沿った支援が行われていることを工夫している。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		送迎時や必要に応じて保護者面談を設けるなどしてニーズの聞き取りを行い、支援が必要とされる点のすり合わせを行っている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		子ども達の自立支援と日常生活の充実、地域交流の機会の提供、子ども達の豊かな発達を促すことをしている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員それぞれが担当する活動に落とし込み、計画達成度を日々の活動の中で確認できている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		送迎時や必要に応じて保護者面談を設けたり、日々の行動の様子を職員間で共有している。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに明示された項目を設定し、お子さまの強みを活かして段階的に課題に取り組めるような支援内容を設定している。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員で意見を出し合い、活動プログラムを作成している。実施結果から難易度などの調整を話し合いプログラムに繋げている。	引き続き、職員間で意見を交換しながらプログラム立案が行えるようにしていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		四季に触れられるように毎月季節に合わせたプログラムを取り入れて実施している。偏りが生じないようにしている。	固定化が必要な内容については意図的に行い、お子さまが楽しく活動できるように工夫してまいります。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童の特性や活動状況に応じて個別・集団を分け柔軟に組み合わせています。支援計画に記載している。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるように取り組んでまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		その日のスタッフが全員出勤後にミーティングを行い活動内容や役割分担、お子様の情報について共有している。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		必ず職員間で打合せ、児童の状況や支援内容の情報を共有し、起こりうる状況を想定して準備、対応している。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		必ず記録を取り、職員で共有し、蓄積し、より良い支援に繋げていくようにしています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法等を確認できるようにしてまいります。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		利用者の状況変化に柔軟に支援ができるよう、会議など通し、話し合いの場を設け適切な見直しを行っている。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施してまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		様々な活動ができるよう、活動バリエーションを増やし活動している。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		活動内容を説明し、周囲の環境等から集団での活動を躊躇する場合には、別の活動を提案し選択できるようにしている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		管理者または児童発達支援管理責任者が参画しており、様子や活動内容を他のスタッフへ伝えている。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		主催する研修を受講し、情報収集に努めたり、地域の現状の情報収集を行っている。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		下校時刻等の情報共有だけでなく、保護者様の承諾を得てお子様の情報共有にも力を入れている。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		児童の見学をお互いに行う等し、情報の共有を行っている。	一部児童に限定されるため、より積極的な連携を図ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		引継ぎ表などを作成し、必要に応じて情報提供をしている。	一部児童に限定されるため、より積極的な連携を図ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		研修を受講し、スタッフ全体で支援について考えたり助言を頂いたりする機会を設けるようにしている。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	学休日や地域の公園での活動の際に、地域の子どもを交えて遊ぶ機会を設けるようにしている。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	管理者が参加し、必要な情報を他のスタッフへ共有している。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		子どもの様子を日常的に保護者に伝え、家庭と連携して育成支援を行っている。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者会を実施し、子育てや就学等に関する情報共有の場を設けている。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		必要な情報や利用負担などについて説明している。難しい内容は繰り返しお伝えし保護者様の負担軽減に配慮している。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		お子さんの生活環境、興味関心、得意なこと苦手なことなど多角的に捉えるため保護者から情報収集を設けている。	今後も要望や意向も確認をしながら作成してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		計画内容、支援内容をご説明後、保護者より十分にご理解をいただき同意の意思表示を行っている。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		お電話をいただき、丁寧に相談に応じるように努めている。保護者様と共有し、対応について共同して考えるようにしている。	引き続き、保護者さまとの信頼関係が構築できるように努めてまいります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会を開催し、交流する機会を設けている。きょうだいも連れて参加する保護者もいるため今後きょうだい同士で楽しめるプログラムも準備し開催できるように努めたい。	今年度も保護者交流会を開催させて頂き、たくさんの保護者さまにご参加して頂きました。ありがとうございました。また、クリスマス会等交流の場も今後予定しております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		活動時の安全面や送迎時の情報共有についてご意見を頂いた。真摯に受け止め全スタッフで対策を検討し実施している。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		メールや連絡帳、活動記録を発信している。行事等がある際は保護者にプリントなどで配布しています。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報は鍵付き棚に保管している。個人情報の扱いはミーティングで職員に対して注意喚起している。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いに十分に留意してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		分かりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者様に合わせるようにしています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	社会体験として、施設外に出ることで地域の方と触れ合える機会を設けている。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるように努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		ミーティング等でマニュアルを確認する時間を設け、有事の際を想定した訓練を実施している。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		プログラムで避難訓練、防災に関する学習を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時にお子様様の状況を確認し、お子様様の情報を記載した一覧表を作成して全スタッフが確認できるようにしている。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に必ずアレルギーの有無を確認し、家庭と連携しながら対応し、必要に応じて医師による指示書提示。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的な研修を実施し、日々の業務の中で気づいた危険箇所や改善策を共有する仕組みを設けている。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		お便りや通知文等で安全計画内容を配布し保護者に周知している。	引き続き、内容に周知を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット報告書を記入する仕組みを整えている。ミーティングでヒヤリハット振り返りで事業所全体、危機管理への意識が向上している。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止研修は毎年必ず実施し、定期的に外部の研修にも参加している。	引き続き、関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束については職員間で周知、研修を行っています。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めてまいります。	